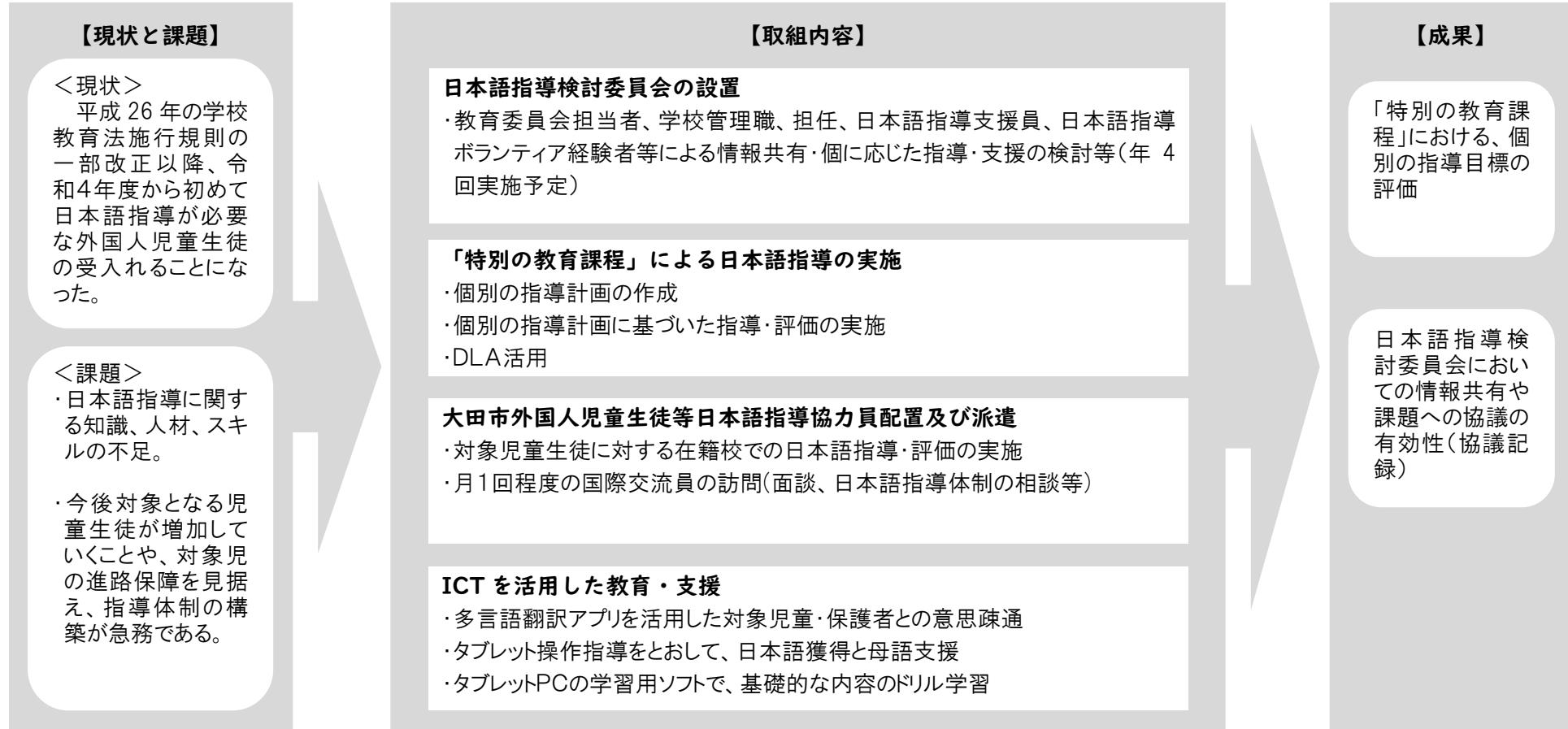


別添

令和6年度 帰国・外国人児童生徒に対するきめ細やかな支援事業 実施体制（大田市教育委員会）



【成果と今後の課題】

- 日本語指導検討委員会を開催し、より良い体制づくりや指導方法について、アドバイスをもらったり情報共有したりすることができた。その結果、各指導者は指導方法が広がったり、個に応じた指導を行うことができた。
- 学習場面や日常生活、行事等において、自国の文化と日本の文化をつなぐ活動することにより、学習や生活に意欲をもって取り組めることへつながっていった。
- 学年が上がることで、学習内容がより高度になっていく。各教科の学習用語の理解・習得をするための効果的な指導計画を立てる必要がある。
- 大田市の幼稚教育施設・小中学校・高等学校の教員に対し、日本語教育の現状や成果について、研修の機会を設け、理解・普及をより一層進める。